

地理

問題 I

【出題の意図】

問 1

世界の気候の成り立ちについて，基本的な理解を問う設問である。

(1)は，世界の気候に影響を与える各地の具体的な自然条件の理解を踏まえて，複数の図表が示す情報を正確に読解し，その要点や背景を的確に整理して説明する能力を問うている。

(2)は，地表上の気候に影響を与える主な要因として，緯度のほかに標高なども重要であることの理解を問うている。

(3)は，気候区分法やそれに基づく実際の気候区分が，そもそもどのような指標に基づいたものであるのかということ，さらにそれらは絶対不変のものではないということへの理解を問うている。

問 2

人間の暮らしの根底を支えてきた農業について，自然条件とそれに適応する人間の技術という観点から，事例とする水稻栽培の特徴も踏まえた形での基本的な理解を問う設問である。

問 3

農村集落の立地条件とそれに連動した土地利用のあり方について，日本の中国山地における地形的特徴も踏まえた形での理解を問うとともに，地形図を正確に読解する能力を問う設問である。

問題Ⅱ

【出題の意図】

本問は、経済・環境に関する大問であり、カナダ、ナミビア、マレーシアにおける地理的事象を問うた。具体的には、上の3国における土地利用の特徴（問1）、カナダにおける経済活動と開拓の経緯（問2）、ナミビアにおける資源分布と自然環境（問3）、マレーシアにおける経済政策と環境問題（問4）についてそれぞれ問うた。

【正解・解答例（解答のポイント）】

問1

A カナダ B ナミビア C マレーシア

問2

- (1) （協定の名称）USMCA （関税に関わる要件）原産地規則
- (2) アメリカ西海岸と時差がないため、人件費や生活費の高いシリコンバレーを避けて ICT 関連企業が立地している点、政策的な支援の枠組みの存在が企業の立地を促す要因となっている点などを考慮して解答を導く。
- (3) Fを始めとする地域でフランス人による開拓が始まり、現在もFにフランス系住民が多く居住する点、Eでイギリス系移民による開発が進み、現在も英語が広く使用されている点などを考慮して解答を導く。

問3

- (1) ア ウラン イ ダイヤモンド ウ 風化 エ オレンジ
- (2) アフリカでは国内総生産に占める工業の比率が低いため、外国からの投資は資源開発に向けられるものが多く、翻ってそのことが工業の発展を遅らせている点などを考慮して解答を導く。
- (3) 海岸沿いに寒流（ベンゲラ海流）が流れているため、海岸付近では大気の下層の気温が低くなる一方、上層の気温が高くなる点、このような条件下では上昇気流が発生しにくく、雨雲も形成されにくくなる点、結果として極度に乾燥する西岸部において砂漠が形成される点などを考慮して解答を導く。

（砂漠名）アタカマ砂漠

問 4

- (1) ルックイースト政策
- (2) カ 成長のトライアングル キ ジョホール ク バタム
ケ 労働力 コ 労働集約
- (3) 以前はマングローブ林減少に養殖池や田の造成が大きく関わっていた点，近年は他の人為的作用（油やし生産など）や自然作用も大きく関係するようになっている点を考慮して解答を導く。

問題Ⅲ

【出題の意図】

本問では，地球的課題（人口問題や環境問題など）を素材にして，世界や日本の諸地域，資源・エネルギー，交通，国境や領海，自然環境などにかかわる基礎知識をベースに，総合的な観点からの地理的思考力，統計地図などの読解力，文章表現力を問うた。

具体的には，アフリカにおける大地域構成と乳幼児死亡率の現状，また，それと衛生，食料，医療・福祉など，その他の課題と関連づける思考力（問 1），再生可能エネルギーに関する基礎知識，日本における地域的分布，課題克服のための工夫などを総合的に捉える思考力（問 2），地球的課題のうち脱炭素の取り組み，便宜置籍船や国際海峡，領海など，国際海運にかかわる基礎，国家や国際機関の役割に関する思考力（問 3）である。

【正解・解答例】

問 1 (1) A：エ， B：ア， C：ウ

問 2 (1) X：風力発電， Y：太陽光発電